

時代見えるお部屋探し川柳

アート不動産「ワンチーム」が最優秀賞に



盛岡市本宮のアート不動産(櫻井大介社長)は4日、第4回お部屋探し川柳の入賞作品5点を発表した。最優秀作品は「引っ越しは

お部屋探し川柳をのぼり旗にしているアート不動産

家族総出で「ワンチーム」(盛岡市緑が丘・女性)。昨年のラグビーワールドカップ日本代表のスローガンで、流行語大賞になった「ワンチーム」を、引っ越し時の団結力に結びつけた家族愛が感じられる作品。入賞作を入れたのぼり旗を4月4日まで、市内4店舗に設置している。

川柳のテーマは「住まい探しのおもしろエピソードあるある!」で、54作品の応募があった。対象は県内在住者だが、県外からの応募も多かった。資産管理部の社員らで選考し、最優秀賞1、優秀賞2、佳作2の5作品を選んだ。

同部の橋本衛さん(23)は「テーマにこだわってひねり出したものや世相を表した作品が多数あった」と、応募者の独自の視点やセンスに感銘していた。

引っ越しや暮らしのエピソードを5・7・5の川柳で募集する企画。自社の管理物件の特典としても位置付け、全入居者に告知し

ている。入居者の満足度を高めることで長期入居を促し、物件オーナーの収益確保につなげている。

櫻井社長(39)は「のぼり旗を見て楽しい気持ちになり、面白いことをしている会社だなと身近に感じてもらえたら」と話していた。優秀賞は「ゴミの日

に挨拶交わして心もク

リン」(同市南仙北・女性)、「はしごからロフトは私の秘密基地」(同市みたけ・女性)、佳作は「雪国は住めば都の城下町」(同市西下台町・男性)、「はかるもの雄星大谷メジャーかな」(同市箱清水・男性)。入賞者には県産ギフトと作品入り鍋敷きが贈られる。